

平成 28 年度

事業報告書

“理念” 甲良町がひとつの家族となるようなまちづくりをめざして

甲良町社会福祉協議会

甲良町社会福祉協議会事業実績報告書

1. 総括

団塊の世代が75歳以上となる平成37年に向けて、年金・医療・介護において財政が逼迫しており大きな問題となっています。そうした中、若年層が少なく人材不足が一層深刻になってくると予測されます。甲良町においても、人口減少や高齢化が進んでおり地域社会の持つ力は弱体化し地域の絆も希薄化しているという現状が大きな課題となっています。

こうした状況の中、本協議会では、高齢者が生きがいをもって安心して暮らせるまちづくり、子どもたちの笑顔が見られるまちづくり、障がい者が積極的に社会参加できるまちづくりをめざして各事業に取り組んでまいりました。

外出支援サービスや配食サービス事業は愛のリタクシー等の影響もあり例年より利用者が減っている状況になっています。また、介護予防、閉じこもり防止のための地域サロン事業については、町内全字で定着しており、29年度からは町直轄で事業を進めていくことになりました。そして、地域の子育て機能を高めていくために地域子ども支え合いプラン13事業の充実にも努めてまいりました。町内9字が取り組まれています。全字が取り組んでいただけるよう今後も支援していきたいとします。地域福祉・ボランティア講座は年9回の講座を開催し、地域ボランティアの育成や困りごと援助サービス等のボランティア発掘に取り組んできました。その結果、ボランティアを増員することが出来ました。

せせらぎ及びえがおのディサービスにおいては、介護職員不足等で利用者の受入を積極的には行えない状況もあり、利用者の増には至らない状況となりました。しかし、利用者には充実した一日を過ごしていただけるよう少ない職員中、工夫した取り組みを行ってまいりました。せせらぎ作業所では、段ボールの組立、パンの製造販売、野菜の栽培と販売などを柱にして、利用者に働く喜びを感じてもらうとともに就労に向けた職業訓練を続けてまいりました。第2せせらぎ作業所においても、個々の持てる力を引き出し自立していただけるように様々な活動、生活習慣の訓練等利用者の残存機能を伸ばせるよう支援してまいりました。

全体の事業を通してスタッフ不足の状況が続く、利用者には満足していただけたかは疑問が残るところです。スタッフ不足の解消については今後も努力していき、一人ひとりの職員が社協職員としての自覚と責任を持ち、その専門性を磨くことにより本協議会全体の資質向上につなげていきたいと考えます。そして、行政や地域福祉関係団体等と連携しつつ、全職員が気持ちを一つにして住民の方々に質の高いサービスが提供できるように努めていきます。

2. 会務の運営

理事会

第1回理事会

日 時 平成 28 年 5 月 28 日 (土) 午前 10 時 00 分より

場 所 町保健福祉センター 研修室

協議事項

議案第 1 号 平成 27 年度事業報告書

議案第 2 号 平成 27 年度資金収支決算書

第 2 回理事会

日 時 平成 28 年 12 月 1 日 (木) 午前 10 時 30 分より

場 所 町保健福祉センター 研修室

協議事項

議案第 3 号 本会定款の変更(案)について

議案第 4 号 本会定款施行細則変更(案)について

議案第 5 号 評議員選任・解任委員会運営細則(案)の制定ならびに同委員の選任について

議案第 6 号 給与規程の変更(案)について

議案第 7 号 平成 28 年度第 1 次補正予算(案)

議案第 8 号 評議員の選任(案)について

第 3 回理事会

日 時 平成 29 年 3 月 23 日 (木) 午後 2 時 00 分より

場 所 町保健福祉センター 研修室

協議事項

議案第 9 号 平成 28 年度 第 2 次資金収支補正予算書(案)

議案第 10 号 平成 29 年度 事業計画書(案)

議案第 11 号 平成 29 年度 資金収支予算書(案)

議案第 12 号 評議員の選任について

議案第 13 号 第三者委員の選任について

議案第 14 号 臨時職員給与規程(案)の変更について

評議員会

第 1 回評議員会

日 時 平成 28 年 5 月 27 日 (金) 午後 7 時 30 分より

場 所 町保健福祉センター 研修室

協議事項

議案第 1 号 平成 27 年度事業報告書

議案第 2 号 平成 27 年度資金収支決算書

第 2 回評議員会

日 時 平成 28 年 12 月 1 日 (木) 午後 7 時 30 分より

場 所 町保健福祉センター 研修室

協議事項

- 議案第 3 号 本会定款の変更(案)について
議案第 4 号 本会定款施行細則(案)について
議案第 5 号 平成 28 年度第 1 次補正予算(案)

第 3 回評議員会

日 時 平成 29 年 3 月 24 日 (金) 午後 7 時 30 分より

場 所 町保健福祉センター 研修室

- 議案第 6 号 平成 28 年度 第 2 次資金収支補正予算書(案)
議案第 7 号 平成 29 年度 事業計画書(案)
議案第 8 号 平成 29 年度 資金収支予算書(案)

監査会

第 1 回会計監査

日 時 平成 28 年 5 月 17 日 (火) 午前 9 時 00 分より

場 所 町保健福祉センター 2 階 会議室

内 容 平成 27 年度会計監査 (下半期)

第 2 回会計監査

日 時 平成 28 年 11 月 15 日 (水) 午後 1 時 30 分より

場 所 町保健福祉センター 2 階 会議室

内 容 平成 28 年度会計監査 (上半期)

3. 地域福祉事業

(1)地域福祉活動支援事業

福祉機器貸出事業

目 的	在宅要援護者等に対し、車椅子等の福祉機器を貸し出すことにより、日常生活の便宜を図ることと介護者の負担軽減を目的とします。
事業内容	車いす・ベッドを無料で貸出 (申請した日から 3 ヶ月) 再更新 1 回
利用対象者	・介護保険で介護機器が利用できない方 ・骨折等により一時的に介護機器が必要な方 ・福祉体験教室等の福祉教育に必要な場合
貸出実績	車いす・・・17 件 ベッド・・・0 件

小地域福祉還元事業

- ・公民館等公共施設の備品購入、公園等の遊具設置等に事業助成金として 1 地区 100,000

円を共同募金より助成しました。

下之郷	掃除機 2 台
呉 竹	刈払機 2 台、デジタルカメラ
小川原	和座敷チェア 40 脚
北 落	展示用パネル一式 5 セット
金 屋	CD ラジカセ、ブルーレイディスクレコーダー、掃除機、壁掛月予定表 2 枚
法養寺	照明器具 2 台、生垣バリカン、スチールチェーンソー

民生・児童委員連絡協議会との連携

4 月 14 日	27 年度 実績報告、決算 28 年度 事業計画、予算 社協事業概要説明
5 月 12 日	保健福祉課事業・体制説明、地域包括支援センター事業説明
6 月 9 日	介護保険事業所との意見交換、ファミリー・ステーション甲良視察
7 月 14 日	町内小中学校の現状説明（甲良中学校会議室）
8 月 11 日	児童虐待防止研修会 講師 幸重忠孝 氏
9 月 8 日	救命講習（犬上分署）
10 月 13 日	働き教育センター甲良視察研修（尼子）
11 月 10 日	3 年間の活動を振り返って
12 月 2 日	委嘱状交付式、役員等の選出等
1 月 12 日	民児協の活動について
2 月 9 日	民生児童委員の活動について
3 月 8 日	28 年度実績報告、決算 29 年度事業計画、予算 生活福祉資金事業（県社協依頼）

- ・命のバトン依頼
- ・独居老人年賀状依頼（年賀状、暑中見舞い）
- ・ボランティア、研修会への参加依頼

困りごと援助サービス

目 的	町民の参加と協力を得て、高齢者及び障害者等に対し暮らしのちょっとした困りごとを援助することにより、高齢や障害があっても地域で自立した生活が送れるよう、支え合い・助け合いの地域づくりの推進を目的とします。	
事業内容	専門的技術を必要としない簡易な作業等で、原則として 1 名の協力員が概ね 30 分以内（最大 1 時間）で終了する継続性のないもの。	
利用対象者	甲良町に居住する下記の者とする。 ・高齢者（概ね 70 歳以上） ・障害者（概ね 3 級以上） ・その他会長が必要と認めた者	
依頼内容		件 数
買物（代行）・・・丸善、ドラッグ・ユタカ、久光精肉店、		9 件

水道修理・・・ハッキンの購入(コメリ)・交換、蛇口交換、	2 件
精米・・・米の精米	5 件
電気・・・電球購入・交換	4 件
その他・・・すだれの購入・取替、雪かき 業者紹介(ハクビシンの駆除、金属のごみ処理等) 民生委員、近隣住民に依頼・・・雪かき	11 件
合 計	31 件

- ・その他の依頼では、簾の取付、換気口のねじ取付、金属ゴミの撤去、ハクビシンの駆除、雪かきなどがありましたが、困りごとでの対応が困難なものについては、依頼者確認のうえ業者に結びました。また、雪かきについては、各字の民生委員さんに連絡しました。
- ・65 歳以上の家庭に老人クラブを通じてチラシを配布しました。29 年度も配布の予定をしています。

レクリエーション講座

- ・年 1 回 2 講座実施・全戸配布にて案内しました。

回数	日程・内容・講師	参加人数
	2 月 27 日(月) 「折り紙の魔術師になろう」 講師：岩崎とし子 氏	27 名
	3 月 9 日(木) 「メンズサロン de そばづくり」 講師：村西祐治 氏・種村長年 氏	9 名
成果・課題	・レクリエーション講座を通じて、地域サロン、プラン 13 事業でのレクリエーションのできるボランティアグループの養成及び団塊の世代の男性グループ化を目指すきっかけになりました。また、参加者からの声を基に折り紙教室の定例化及び男性グループの立ち上げ支援の為に定期的なメンズサロンの開催の声があり次年度から推進していきたいと考えています。	

地域ケアネットワーク会議（町地域包括支援センター）

- ・月 1 回の会議へ出席しました。
- ・関係機関との地域課題の共有及び解決に向けた検討、また平成 29 年度以降の介護予防、日常生活支援総合事業への移行検討を行いました。

会議内容及び資料提供内容等

4 月 13 日	情報交換・介護予防日常生活支援総合事業についての検討 社協より...命のバトン事業について・プラン 13 交流会について
5 月 11 日	情報交換・個別ケース・地域サロンの現状・総合事業スケジュールについて 社協より...サロン月次報告・地域サロンの現状報告
6 月 8 日	情報交換・地域サロンについて意見交換・総合事業サービス形態の説明 社協より...サロン月次報告・プラン 13 について

7月13日	情報交換・個別ケース・総合事業要綱案について 社協より...サロン月次報告・ボランティア講座について
8月10日	情報交換・サロンアンケート案について 社協より...サロン月次報告・第1期講座案内・困り事援助サービスについて
9月14日	情報交換・個別ケース・在宅看取りについての意見交換 社協より...サロン月次報告・第2期講座案内
10月12日	情報交換・在宅看取りについての意見交換 社協より...サロン月次報告・講座特別編案内
11月9日	情報交換・個別ケース・事例検討～孤独死の事例から支援を考える～ 社協より...サロン月次報告・講座特別編案内
12月14日	情報交換・地域づくりについての意見交換 社協より...サロン月次報告・講座特別編報告
1月11日	情報交換・個別ケース・協議体経過報告・今後の一般施策の方向性について 社協より...サロン月次報告・プラン13交流会案内
2月8日	情報交換・次年度にむけて（ネットワーク会議と協議体のあり方） 社協より...講座第3期案内
3月8日	情報交換・個別ケース・地域おこし協力隊について 社協より...サロン月次報告・第3期講座報告・福祉車両の貸出について

福祉車両貸出事業

目 的	甲良町内に在住する外出困難な高齢者および障害者等の社会参加および在宅福祉増進に寄与するため、福祉車両を町民に貸し出すとともに外出支援を行うことを目的としています。	
事業内容	社協にある車いすのまま乗車できる車両を病院送迎等に貸出します。また、運転する者がいない場合は当協議会に登録している運転ボランティアに活動を依頼します。	
利用対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的理由により他に利用できる外出手段がない者で、車いす等を使用しなければ外出が困難な者または傷病等で外出が困難な者。ただし、生活保護受給者はこの限りではありません。 ・福祉団体等 ・その他会長が認めた場合 	
平成28年9月より実施 貸出件数等	登録者数等	
	登録人数	7名
	利用実人数	7名
	利用延回数	30名
貸出理由	病院の送迎、転院、一時外泊等	

・貸し出しについてはデイサービスの送迎時間以外の使用を目的としており、彦根・愛知・

犬上郡の往復 20 キロ以内を想定してサービスを開始しましたが、利用者の方の利用範囲の拡大等の要望がありますので、29 年度には要望に応えられるような検討が必要だと思います。

地域支え合い送迎事業

目 的	甲良町内に在住する外出困難な高齢者および障害者等、日常生活支援が必要な人に対して、地域支え合い送迎事業として、当協議会の登録運転ボランティア等で外出の支援を行う事を目的とします。	
事業内容	買物等への送迎（丸善及び付近の銀行等、フレンドマート秦荘店）	
利用対象者	当面は外出支援サービス利用者を対象としています。 ・一人暮らし高齢者及び高齢者世帯 ・経済的理由により他に利用できる外出手段がない者 ・その他会長が必要と認めた者	
平成 28 年 9 月より実施	登録者数等	利用者数
	登録人数	15 名
	利用者実人数	10 名
	利用者延人数	66 名
買物場所	丸善 K モール店、ドラックユタカ・銀行	35 名
	フレンドマート	31 名

・現在、町委託による外出支援サービスを利用されている方を対象に行っており、今後は利用者の範囲を拡大していくこととそれに伴うボランティアの確保が必要となります。

老人福祉大会への助成

・町老ク連主催の老人福祉大会に共同募金より 50,000 円を助成しました。

友愛訪問活動助成

・町内の独居老人等への慰問に共同募金より 20,000 円を助成しました。

滋賀の縁（子ども食堂等の事業）

・平成 29 年 2 月 16 日に淡海子ども食堂の新規立ち上げを検討している子育て支援センターと行政との協議を実施しました。

(2) ボランティア活動推進事業

災害ボランティア講座

・年 1 回 3 講座を開催し全戸配布にて案内しました。

回数	日程・内容・講師	参加人数
	10 月 7 日（金） 「クロスロード体験」	12 名

	進行：西村一真	
	10月21日（金） 「HUG～避難所運営ゲーム～」 講師：日本防災士会滋賀県支部	12名
	11月16日（水） 災害ボランティア講座特別編 「あの悲しみを忘れない…」～東日本大震災の経験から～ 講師：岩手県陸前高田市語り部ガイド河野正義 氏	126名
成果・課題	<p>・近年の災害を教訓にして住民の防災に対する意識向上を図り、災害・減災に対する地域でのリーダー的役割を担ってもらえる人材育成の第一歩となる講座となりました。今後も地域防災・減災の意識を高める為にも継続した災害ボランティア講座の実施が必要であると考えています。</p> <p>・の特別編においては全戸配布以外にも関係機関・関係団体等にも案内を行った事で126名もの参加がありました。アンケートにも「日頃の防災の考え方を改めて考えさせられる機会となった」や「防災の備えは日常的に考えていかなければならない」等の意見や感想が多数書かれており町民の防災、減災への関心の高さがうかがえました。</p>	

困りごと援助サービスサポーター養成講座

・年2回4講座を開催し、全戸配布にて案内しました

回数	日程・内容・講師	参加人数
	8月19日（金） 「今世話焼きさんが必要なワケ」～お助け上手を目指して～ 講師：びわこ学院大学教授 平尾良治 氏	17名
	8月24日（水） 「困り事を支える仕組み」 講師：東円堂まどか・愛荘町社協 大島宏美 氏	23名
	8月31日（水） 「認知症の理解と傾聴」 講師：滋賀八幡病院 看護部長 青野 章 氏	15名
	2月24日（金） 「地域での新しい支え合いの形」 講師：草津市山田学区社協 岡 顯朗 氏 Vハナミズキ 山岡和子 氏 草津市社協 吉川 翼 氏	22名
成果・課題	<p>・困り事援助サービス事業でサポーター（支援員）として活動して頂けるボランティアを育成するために実施しました。各講座終了後に困りごと援助サービスの必要性・サポーターの必要性を根強く訴えた甲斐もあり講座実施後新たに7名が困り事援助サービスサポーターとして登録して頂く事ができました。その一方講座に継続した参加をして頂いている方のサポーター登録等が少ない為ボランティア講座からサポーター登録への必要性や参加者の意識の醸成が更に必要だと考えます。</p>	

ボランティア団体の育成および支援

- ・ボランティア連絡協議会運営支援

甲良町内のボランティアグループ及び個人のボランティア会員で構成し、地域の福祉向上の一助としてボランティア活動を行うグループ相互の連絡調整及び会員の親睦を図る事を目的として活動を行いました。また高島市方面への視察研修も実施し先進地事例の見学や会員同士の親睦を図る事ができました。

- ・拡大写本ボランティアグループ支援

毎月1回の紙芝居づくり（手作り）

（毎月1回各施設（豊郷病院、ハストラル、社協デイ、東小）にて紙芝居の読み聞かせの実施）

- ・絵手紙ボランティアグループ支援

毎月1回の絵手紙づくり、毎月けやきに絵手紙を送る。

絵手紙による年賀状、敬老会絵手紙でお祝いします。

- ・健康推進委員会の支援に20,000円を共同募金より助成しました。

- ・各字に地域サロン事業助成金として40,000円を共同募金より助成しました。

- ・収集ボランティア啓発

使用済み切手・カードやペットボトルのキャップ、プルトップを収集するなどボランティア協力を推進しました。

使用済み切手	550 g
ペットボトルキャップ	14.97 kg
プルトップ	2.636 kg

ボランティア活動調整・情報提供（コーディネート及び相談等の業務）

・各字の事業、福祉施設、図書館まつり等へのボランティア派遣及び連絡・調整を実施しました。また、ボランティア活動者の連絡調整及び安心した活動を推進する為のボランティア登録及び保険の加入推進を行いました。

ボランティア登録者数（団体加入含む）	205 名
ボランティア活動保険加入者数	179 名

(3)相談支援事業

生活福祉資金貸付事業

3月末日現在

目 的	住民の生活を支援し自立を図るための地域福祉サービス
事業内容	経済的な自立および生活意欲の助長促進、ならびに在宅福祉および社会参加の促進を図り、安定した生活が送れるよう、資金の貸付と民生委員児童委員による必要な生活支援を行います。

貸付事業	福祉資金・総合支援資金・臨時特例つなぎ資金・教育支援資金等			
利用対象者	低所得者、障害者または高齢者の世帯			
資金の種類	借入件数	滞納件数	借入金額	借入残額
福祉資金（生業費）	3 件	3 件	9,988,125 円	14,999,655 円
福祉資金（障害自動車）	1 件	1 件	2,237,062 円	2,684,298 円
福祉資金（療養）	2 件	1 件	846,011 円	787,891 円
福祉資金（住宅改修）	4 件	2 件	10,438,846 円	4,547,433 円
教育支援資金	21 件	4 件	34,500,860 円	28,544,918 円
総合支援資金	7 件	3 件	16,259,625 円	14,088,948 円
緊急小口資金	5 件	5 件	501,125 円	819,792 円
合 計	43 件	19 件	74,771,654 円	66,472,935 円

- ・滞納者への償還指導等、社協では対応できない課題があります。県社協等へ滞納者への償還指導をしていただくように依頼しています。

一時援護資金貸付事業

- ・10万円を限度として生活保護受給確定世帯に貸し付けます。
- ・甲良町に居住する生活困窮世帯であって、生活保護制度の利用申請を行い、関係機関に受理され、認可が下りると判断できるものが、初回の生活保護費を受給する期間の間、資金の貸付と必要な相談支援を実施することで、計画性のある安定した生活の維持を目的としています。

平成 28 年度実績 0 件

生活困窮者自立支援事業

目 的	生活に困窮している人に対し、生活保護受給に至る前の段階で、自立に向けた支援を行なうことにより、課題が複雑化・深刻化する前に自立の促進を図ることを目的とします。
事業内容	<p>自立相談支援事業における相談窓口の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮者の相談に応じ、その人の状態にあった支援計画を作成し、必要なサービスの提供につなげていきます。 ・関係機関への同行訪問や就労支援員による就労支援などを行います。 ・関係機関とのネットワークづくりと地域に不足する社会資源の開発に取り組みます。 <p>住宅確保給付金の受付窓口業務</p> <p>生活困窮者等で「住宅確保給付金」を受ける際の受付を行い、湖東健康福祉事務所につなげます。</p>
利用対象者	経済的に困窮している者にとどまらず、広く生活に課題を抱えている者

支援調整会議への参加

7月26日	・研修・ハローワークでの仕事探し、雇用保険制度の概要について ・意見交換・子どもの学習支援事業について ・就労準備支援事業の機能と支援対象者像について
10月31日	・研修・ひきこもりへの支援について ・意見交換・子どもの学習支援事業について
2月17日	・研修・特定求職者雇用開発助成金制度について

相談件数等

		年間合計
新規相談受付件数（総数）		3 件
プラン作成件数（総数）		3 件
就労支援対象者数（プラン期間中の一般就労を目標にしている）		0 件
	就労準備支援事業	0 件
	就労訓練事業	0 件
	自立相談支援事業による就労支援	0 件
その他	生活福祉資金等による貸付	0 件
	生活保護受給者等就労自立促進事業	0 件
就労者数（一般就労総数）		0 件
支援メニューの利用状況	就労準備支援事業	0 件
	就労訓練事業	0 件
	自立相談支援事業による就労支援	0 件
	生活保護受給者等就労自立促進事業	0 件

- ・新規相談からのプラン作成には至らなかったものの、借金問題等で弁護士事務所につなぎ解決策を考える事ができました。継続支援についてはプランを作成し、せせらぎ（作業所）での実習訓練につなぐ事ができ、月1回1時間からの実習訓練をはじめ、週2回午前中の実習訓練まで進める事ができました。今後は、就労準備支援事業等の支援メニューも取り入れながら一般就労に向けた支援を進めていきたいと考えます。
- ・新規相談が少ないのが現状ですが、社協広報を活用し町民への周知を行っていきます。

地域福祉権利擁護事業

目的	認知症高齢者や知的障害者、精神障害者など判断能力が十分でない方を対象に、利用者との契約に基づき、地域で安心して暮らせるように支援を行うことを目的とします。
事業内容	福祉サービス利用援助、日常的金銭管理サービス、書類等の預かりサービス
利用対象者	認知症高齢者や知的障害者、精神障害者など判断能力が不十分な者で、日常生活を営むうえで必要とする事項につき、自己の判断で適切に行うことが困難であると認められる者であって、かつ、支援計画に定める援助にかかる契約内容について判断し得る能力を有していると認められる者

利用者負担	30分 500円（その他内容により）
主な業務	・家族の方、ケアマネ等からの利用者に対する生活相談全般 ・利用者の財産等の管理、契約等への同行
その他	担当者会議及び専門員・生活支援員研修への参加 年3回

1.相談援助件数累計（問い合わせ・相談援助件数）

内 容	本事業の利用に関するもの				その他	合 計
	認知症 高齢者	知的障 害者等	精神障 害者等	不明 その他		
a.問合せ件数	2	0	0	1	0	3
b.初回相談件数	2	0	1	0		3
c.相談援助件数	549	0	424	232		1,205
合 計	553	0	425	233	0	1,211

2.実利用件数

内 容	認知症 高齢者等	知的障 害者等	精神障害 者等	不明 その他	生活保護 （再掲）	合 計
契約者数	10	0	4	3	7	17
28年度契約締結件数累計A	2	0	1	0	0	3
27年度末実利用件数累計B	9	0	4	3	7	16
28年度契約終了件数累計C	1	0	1	0	0	2
合 計（A+B-C）	10	0	4	3	7	17
成果・課題	<p>・身寄りのいない又は身寄りが少ない一人暮らし利用者の終了ケースについて困難事例が多くなってきている事が課題と考えます。今後も一人暮らし高齢者や高齢者世帯も増えつつあり相談件数や契約件数も上昇すると考えられるため相談時からのアセスメントをしっかりと行っていきます。</p> <p>・新規相談からつながり新たに3件の契約があった一方死亡による契約終了ケースが2件であり純増数は1件となりました。</p> <p>・今年度は広報等での周知が1回しかできなかったことから、今後は町民へ広報等で継続した周知を行っていきたいと考えています。</p>					

(4)福祉活動団体・当事者団体支援事業

各種団体育成事業

目 的	各当事者団体の自主的活動の支援・育成を行う事を目的とします。			
支援内容	各団体の行事等の連絡調整及び必要な事務処理			
	主な団体と行事			
	・身体障害者更生会			
	開 催 日	事 業 名	開催場所	人数
	6月7日	役員会（事業報告・決算、事業計画・予算について）	町保健福祉センター	4名

	7月2日	第9回町身障グラウンドゴルフ大会	尼子グラウンド	14名
	10月2日	第10回町身障グラウンドゴルフ大会	尼子グラウンド	13名
	・手をつなぐ育成会			
	開催日	事業名	開催場所	人数
	4月20日(水)	愛知・犬上地区手をつなぐ育成会第1回正副会長会議	福祉事務所	5名
	10月6日(木)	愛知・犬上地区手をつなぐ育成会第2回正副会長会議	パン工房せせらぎ	3名
	7月9日(土)	第35回滋賀県スペシャルスポーツカーニバル	長浜ドーム	11名
	10月15日(土)	愛知・犬上地区手をつなぐ交流会	愛荘町はつづドーム	5名
	・遺族会			
	開催日	事業名	開催場所	人数
	4月5日(火)	護国神社春季例大祭	県護国神社	0名
	4月15日(金)	各都市遺族会会長会議	遺族会館	1名
	6月2日(木)	犬上支部遺族会会長会	豊栄のさと 13:30～	6名
	6月8日(水)	甲良町遺族会役員会	保健センター 19:30～	9名
	7月	平成28年度会費の納入期間 第40回みたままつり献灯依頼		
	7月18日(月)	甲良町忠霊塔清掃	西・東忠霊塔	会員
	8月9日(火)	第35回慰霊と平和祈願リレー行進		1名
	8月13日(土)	第40回みたま祭献灯準備(献灯奉納)	護国神社	
	～15日(月)	13日献灯短冊吊り 14日みたま祭会場当番 16日会場片付け		
	8月15日(月)	全国戦没者追悼式典	日本武道館	他町
	8月20日(土)	平和記念・県下戦没者追悼式	県立文化産業交流会館	5名
	9月25日(日)	滋賀県戦没者遺族大会	近江八幡市文化会館	8名
	12月	滋賀県護国神社御神符頒布	町内	人数
	3月5日(日)	甲良町戦没者追悼法要	呉竹 光源寺	15名
	年3回	遺族の友発刊(6・10・1月)		
	8月 各字慰霊祭(池寺、金屋、尼子、下之郷、在土、小川原、北落)各字五千円助成			
	・赤十字奉仕団			
	開催日	事業名	開催場所	人数
	3役会議随時	各字班長会議(年間4回 4/28、7/7、10/15、3/16)		
	4月10日	赤十字奉仕団正副委員長合同会議	福祉事務所	2名
	献血啓発活動(年間2回 4/25、12/5)正副委員長			
	5月7日	養護学校から一人暮らし老人へのお花配り(5/7、3/7)		
	6月2・7・8日	日赤奉仕団健康生活支援講習支援員養成講習会	町保健福祉センター	82名
	甲良養護学校草刈り(年間3回 5/7、7/12、11/5)正副/各字2名			
	7月28日	愛の献血感謝のつどい	栗東芸術文化会館	1名
	7月30日	町夏祭り 模擬店出店	町役場	29名

8月21・22日	町赤十字奉仕団親睦旅行	和歌山那智勝浦	44名
11月18日	湖東地区赤十字奉仕団一日研修	豊郷町隣保館	29名
11月25日	支部創立120周年記念滋賀県赤十字大会	びわ湖ホール	12名
12月11日	清掃ボランティア	犬上ハートフルセンター	29名
2月19日	赤十字奉仕団委員長、事務担当者会議	町保健福祉センター	10名
3月18日	各班長一人暮らし老人宅訪問	町内	12名

子供愛の一声運動

各字において缶、びん、ゴミ拾い、除草作業

犬上ハートフルセンター活動（火・木・土曜日洗濯たたみ、第2・4金曜日買物介助）

まごころ募金缶の配布と回収

更生保護女性会

開催日	事業名	開催場所	人数
年間常時開催	甲良町役員会（6回）	保健福祉センター	4名
	犬上地区役員会（6回）	多賀町総合福祉保健センター	1名
5月13日(金)	淡海学園 母の日集会	淡海学園	1名
5月24日(火)	町更生保護女性会総会	保健福祉センター	18名
年3回 6・12・2月	中学校生徒への愛の声かけ運動(朝)	甲良中学校玄関前	30名
年間毎月1回以上	各字の登校する児童に声かけをする	各字の集合場所	
28年6～3月	親子ふれあい教室 ボランティア	子育て支援センター等	-
6月16日(木)	第66回社会を明るくする運動推進委員会	保健福祉センター	9名
7月1日(金)	第66回社明運動法務大臣メッセ・ジ伝達式・街頭啓発	甲良町公民館前	14名
7月13日(水)	犬上一般公開ケース研修会	多賀町保健福祉センター	14名
8月8日(月)	町更生保護女性会ミニ集会	町保健福祉センター	12名
9月10日(土)	甲良中学校体育大会 参観	甲良中学校	3名
9月28日(水)	甲良中学校文化祭 参観	甲良中学校	1名
9月30日(金)	第3ブロック研究協議会	日野わたむきホール紅	7名
10月4日(火)	彦根保護区保護司会自主研修会	豊郷町豊栄のさと	10名
10月18日(火)	施設訪問	大津地方裁判所	18名
11月13日(日)	甲良町青少年育成大会	町公民館	8名
12月13日、1月31日	中学校記念品制作	町保健福祉センター	17名
1月16日(月)	資金造成 前進座観劇	京都	13名
2月21日(火)	甲良町更生保護女性会総会	保健福祉センター	10名
3月24日(金)	犬上郡更生保護女性会総会	豊郷町豊栄のさと	1名

声掛け運動 4/1、学校訪問、施設訪問等

上記にかかる事務局担当（連絡調整等の事務処理及び会計処理）

・障害者（児）地域交流支援事業実行委員会

	5月24日(火)	実行委員会	町保健福祉センター	5名
	7月16日(土)	障害者わくわく交流日帰り旅行	京都鉄道博物館	24名
	9月17日(土)	障害者わくわく交流バーベキュー	多賀町高取山	16名
	2月4日(土)	障害者わくわくサロンボーリング大会	ビバシティレジャーボール	16名
障害児者の自主的な社会参加と自立を促進し、障害児者に対する住民の理解と認識を深めることを目的として各種交流会を行ないました。				

(5)町推進事業代理業務

社会を明るくする運動の実施

目 的	犯罪防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪のない明るい社会の形成に努めることを目的としています。
事業内容	7月の1ヶ月間を強化月間として運動。 推進委員会の開催、総理大臣の伝達式、協力金の推進、街頭啓発、のぼり旗・看板・横断幕の設置、更生保護女性会施設慰問・一般公開ケース研究会の参加
6月16日(木)社会を明るくする運動甲良町推進委員会の開催 委員29人(役場・保護司会・更生保護女性会・学校長・スマイルネット・区長会代表・民協・老人会・駐在所・犬上少年センター)	
現状報告 ・「甲良中学校の様子から」甲良中学校長 青山 繁 氏 ・「犯罪や非行の現状について」滋賀県彦根警察署甲良警察官駐在所 大植 剛 氏 講演 ・「薬物依存症からの回復」びわこダルク 大村 善徳 氏	
7月1日(金)総理大臣メッセージ伝達式37人 役場・保護司会・更生保護女性会・社協	
7月1日(金)街頭啓発28人 更生保護女性会 ・朝11:00~12:00、夕17:00~18:00 有)うえかわ・丸善Kモール店・ドラックユタカ・こうら道の駅 ・啓発資材の購入(全戸啓発資材 クリアファイル・ティッシュ等、字用看板作製依頼) ・啓発チラシ作成(ヒカリ印刷依頼) ・町内啓発(のぼり旗、横断幕の設置、防災無線での啓発) ・更生保護女性会(更生保護施設慰問、助成金支出)	
対 象 者	町民
協力金	各戸200円 平成28年度実績額・・・292,350円

日本赤十字社甲良分区事務局

組織事務局	日赤奉仕団、自治会との連携のもと、赤十字運動に対する理解の醸成を図りながら、社費収納業務等の赤十字業務に努めていきます。
-------	--

事業内容	社資（募金）の依頼	各戸	実績額・・・	776,000 円
		奉仕団員等	実績額・・・	370,000 円
		企業	実績額・・・	135,000 円
			総 額・・・	1,281,000 円
	・ 町日赤奉仕団との事業連携、研修会等（上記 日赤奉仕団参照） ・ 赤十字奉仕団へ助成			

(6)子育て支援事業

地域子ども支えあいプラン 13 事業の実施

目 的	日常的に子どもが遊びなどを通じ異年齢の交流・世代をこえた交流ができる場作りをとおして、学校や家庭を支える地域の子育て機能を高めていくことを目的とします。		
事業内容	定期的に字の公民館等を開放し、宿題や遊びができる場の提供。		
開催日時	開催日時や実施主体は、字により異なるが下記のとおり。平日の午後 3 時～5 時まで。（小学生下校時間にあわせ） 休日開催地区もあり。（午前中）		
実施主体	既存の住民福祉グループや、新たに立ち上げたボランティア団体、字の公民館活動との連携で行うなど様々。		
活動者年齢層 60 歳以上が大半。一部子育て世代が主になっているところもある。 定期的な（4 ヶ月に 1 回）活動報告をもとに子供参加 1 人 300 円			
字 名	名 称	内 容	実施回数
在 士	子ども広場	不定期による公民館の開放	5 回
下之郷	しものごっこあつまれ子ども広場	毎月 1 回水曜日に公民館開放	16 回
尼 子	子どもサロンよっといで	子どもイベントを開催	2 回
小川原	小川原こどもひろば	毎月第 3 水曜日に公民館開放	4 回
金 屋	公民館開放	毎月 1 回月曜日に公民館開放	12 回
池 寺	おもちゃ箱	毎月 1 回水曜日に公民館開放	13 回
長寺東	この指とまれ	月末の週末に老人憩いの家を開放	4 回
長寺西	あそぼう会	毎月 1 回最終水曜日にセンターを開放	12 回
法養寺	のびのび広場	水曜日に公民館を開放	5 回
合 計			73 回
交流会の 実施	第 1 回 平成 28 年 4 月 27 日 内容：事業及び助成金に関する説明について 話題提供「子どもの居場所づくり」 講師：八日市に冒険遊び場をつくる会世話人 村山弘晃 氏 グループ交流会（子どもの時の遊び・話題提供について）		
	第 2 回 平成 29 年 2 月 7 日		

	<p>内容：話題提供「滋賀県での子どもの居場所づくりについて」</p> <p>講師：滋賀県社協 谷口郁美 氏</p> <p>各字作成の活動紹介ポスター展示及びグループ交流会 (各字の現状及び地域の子どもの様子について)</p>
成果・課題	<p>今年度 4 月に新区長・活動者を対象とした説明会を行ったことにより、区長等への本活動の理解や意義を伝える事ができ、小川原区への積極的な訪問により新規で活動実施をしてもらう事が出来ました。また交流会にて作成してもらった各字の活動ポスターを保健福祉センター・図書館へ掲示した事により町民への活動の理解や周知につながりました。</p> <p>しかし、各字の子ども数及び支援者への負担により活動が消極的になった字がありました。今後は保護者だけではなく地域のボランティア型による実施に転換できる様進めていきたいと思ひます。</p>

クリスマス訪問事業

- ・東西保育園センター児童にクリスマスの衣装を着たボランティアさんが保育センターにて一人づつクリスマスプレゼントを渡します。
- ・クリスマスプレゼント代 113,509 円を共同募金より助成しました。

仏教会花祭り助成

- ・年 1 回町公民館において、仏教会主催による花祭りの行事に 30,000 円を共同募金より助成しました。

福祉活動推進校事業

目 的	甲良町内の学校児童、生徒に対して、身近な福祉問題の理解と関心を日常から学んで高めることで、社会奉仕・社会連帯の心を養う事を目的とします。
事業内容	学校の福祉活動の支援
利用対象校	町内の小中学校、甲良養護学校（全 4 校）

- ・中学校・平成 29 年 2 月 16、17 日
障がいに関する講演会
～障がい者理解について～
アイコラボレーション高島 中西 信樹 氏
アイマスク体験
・コイン・折鶴・電卓・名前記入・ユニバーサルデザイン
グループワーク
「誰もが住みやすい地域になるために・・・今自分にできる事」
- ・小学校・平成 28 年 6 月 14、17、21、22、24、28 日
アイマスク、聞こえ方体験、食事介護体験、自助具体験

車椅子体験、高齢者疑似体験

障がいに関する講演会

～車いすでの生活について～

アイコラボレーション多賀 北川 誠 氏

デイサービスでの交流会

上記の事業の講師等連絡調整、福祉体験講師として指導等の支援を実施。

(小・中、甲良養護学校に共募より各校に助成 100,000 円)

(7)福祉啓発事業

社協広報紙の発行

目 的	社会福祉の啓発および福祉情報を提供し、甲良町の福祉の輪を広げることを目的とします。
事業内容	「社協こうら」の発行（毎月 15 日に年間 12 回）
配 布 先	町内全戸配布・各字公民館にラミネート版の設置・町内共同募金協力企業・公共施設等（甲良養護学校・教育委員会・図書館・道の駅）・県内社協

善意銀行及び生活支援物資の受入と活用

・町内外からの寄付金、物品

【個人・団体等からの寄付数】

米（kg）	385	雑巾	37	パット（袋）	4
オムツ（袋）	5	紙パンツ（袋）	1	フェイスタオル	44
折りたたみベッド(台)	2	ケアシート	1	シーツカバー	2
紳士用衣服	11	紳士用パジャマ	2	婦人用パジャマ	1
紳士用肌着	47	紳士用下着	9	婦人用下着	9
バスタオル	2	ハンドタオル	1	現金（円）	104,300

【配分物品】

バスタオル	8	ハンドタオル	20	フェイスタオル	50
米（kg）	40	紳士用下着	3	シーツカバー	1

福祉教育受入

・教員等の資格取得のための介護実習受入

びわこ学院大学生 8月8～12日 1名受入

福祉介護人材受入

・介護職員初任者資格取得のための介護実習受入

受入 0名

(8) 福祉活動推進に伴う財源確保

社協会費（普通会費 1,000 円）

字名	実世帯数	会員世帯数	普通会費額	率
在 士	53 世帯	47 世帯	47,000 円	88.7%
下之郷	230 世帯	196 世帯	196,000 円	85.2%
尼 子	260 世帯	243 世帯	243,000 円	93.5%
呉 竹	390 世帯	110 世帯	110,000 円	28.2%
小川原	68 世帯	63 世帯	63,000 円	92.6%
北 落	110 世帯	92 世帯	92,000 円	83.6%
金 屋	120 世帯	115 世帯	115,000 円	95.8%
正楽寺	36 世帯	36 世帯	36,000 円	100.0%
池 寺	120 世帯	105 世帯	105,000 円	87.5%
長寺東	72 世帯	65 世帯	65,000 円	90.3%
長寺西	570 世帯	287 世帯	287,000 円	50.4%
法養寺	45 世帯	42 世帯	42,000 円	93.3%
横 関	72 世帯	68 世帯	68,000 円	94.4%
合計	2,146 世帯	1,469 世帯	1,469,000 円	68.5%

共同募金運動・歳末助け合い運動

共同募金（赤い羽根募金・歳末たすけあい募金）に対する住民の理解を深めながら、募金活動に努めるとともに、適切な配分と援護活動に努めます。

実施時期 10 月～12 月（歳末募金 12 月）

募金活動

戸別募金（赤い羽根共同募金 700 円、歳末助け合い募金 500 円）

街頭募金（丸善前にて街頭啓発、募金 社協理事・監事・職員で実施）

法人募金（町内 157 事業者に企業募金 社協理事・監事・職員が訪問）

振込企業 7 社を除く

学校募金（町内保育センター養護学校等に募金を通して啓発活動を行う）

職域募金（役場職員、民生委員、老人クラブ役員社協職員等に募金依頼）

個人募金（個人からの募金）その他の募金

事務処理 啓発資材の発注、募金委員会の開催、各所に募金依頼

県共募に募金送金（翌年助成金として送金）

募金方法	赤い羽根共同募金	歳末たすけあい募金	合 計
個 別 募 金	996,850 円	698,900 円	1,695,750 円
街 頭 募 金	8,153 円	4,936 円	13,089 円
法 人 募 金	494,000 円	15,000 円	509,000 円
学 校 募 金	8,045 円		8,045 円
職 域 募 金	241,300 円		241,300 円
その他の募金	84,965 円	130,000 円	214,965 円

合 計	1,833,313 円	848,836 円	2,682,149 円
-----	-------------	-----------	-------------

4. 委託事業

(1)町委託事業（在宅福祉サービス）

地域サロン事業（高齢者サロン）全 13 字

目 的	介護予防、閉じこもりの防止のため、各字による地域活動を支援する事を目的とします。
事業内容	各字サロンにおいて、介護予防に資する内容のプログラムなどを実施。
利用対象者	65 歳以上の者（ボランティアも含む）
そ の 他	スタッフは、字ボランティア、社協コーディネーター等
利用内容	実施日、回数等地区（字）によって違う。概ね月 1 回～2 回開催
利用者負担	0～100 円程度（各サロンで設定）
助成金額	助成金 利用者 1 回につき 300 円（65 歳以上のボランティアを含む）

地区名	サロン名称	開催場所	参加対象者	年間実施回数	年間参加	
					参加対象者	
					実人数	延べ人数
在 士	楽しく語ろう会	在士草の根ハウス	65 歳以上	22 回	52 人	392 人
下之郷	ひまわり会	下之郷農事集会所	79 歳以上	21 回	102 人	487 人
尼 子	絆の会	平成の尼子館	65 歳以上	20 回	40 人	468 人
呉 竹	さわやか会	呉竹地域総合センター	70 歳以上	12 回	21 人	206 人
小川原	おたのしみ会	小川原草の根ハウス	75 歳以上	12 回	38 人	123 人
北 落	かがやき会	北落草の根ハウス	77 歳以上	12 回	52 人	250 人
金 屋	あゆみ会	金屋農事集会所	77 歳以上	11 回	66 人	354 人
正楽寺	ほのぼのルーム	正楽寺公民館	65 歳以上	12 回	35 人	235 人
池 寺	集まろう会	池寺公民館	65 歳以上	12 回	144 人	227 人
長寺東	だんらん会	長寺東老人憩いの家	65 歳以上	12 回	56 人	298 人
長寺西	長寿会	長寺地域総合ハウス	70 歳以上	10 回	40 人	267 人
法養寺	にこにこ会	法養寺公民館	80 歳以上	12 回	24 人	71 人
横 関	やすらぎ会	横関草の根ハウス	80 歳以上	12 回	31 人	196 人
合 計				180 回	701 人	3,574 人
支援内容		回 数	内 容			
参加者報告		149 回 × 15 分	各字月 1 回			
ボランティア講座		5 回	楽しく学ぶ！ご近所ふくし講座			
レク用具貸出		14 回	けん玉・トランプ・ビーチボール・パイルボール・魚魚合わせ はめっこパズル・カルタ・輪投げ・マグネットダーツ 他			
講師調整		6 回	彦根警察署			

余興調整	6 回	歌・踊り・マジック・演奏・足芸
各字サロンへの参加	24 回	
町バス調整	3 回	野外活動

- ・独居老人で、周囲との関わりがほとんどなかった方に今年度声をかけ、サロンに参加してもらう事ができました。現在、65 歳以上のボランティアが多く、今後のサロンの運営にあたって 64 歳以下のボランティア育成が課題であると考えています。
- ・29 年度より委託事業が廃止されました。(各字助成金のみを社協が振込を行う委託事業を受託することになりました。)

配食サービス事業

目 的	栄養バランスのとれた適切な食事管理ができるよう支援し、介護予防と在宅生活の継続を図る事を目的とします。	
事業内容	定期的に訪問し食事(弁当)を配達するとともに、利用者の安否確認の実施。	
利用対象者	概ね 65 歳以上でひとり暮らしおよび高齢者世帯、アセスメントにより対象となる者	
利用内容	食事の配達、安否確認を行う。月～土曜日の 1 日 2 食	
利用者負担	食材料費として 1 食 450 円(ご飯なし 50 円引き)	
成果・課題	配達時、転倒されていたケースが 1 件ありました。(怪我なし) 認知症の方の利用料の支払い方法について検討していく必要があります。	
内 容	昼 食	夕 食
普通食(ご飯有)	1,377 食	1,862 食
普通食(ご飯無)	1,605 食	3,853 食
特別食(ご飯有)	11 食	0 食
特別食(ご飯無)	0 食	3 食
治療食(ご飯有)	350 食	845 食
治療食(ご飯無)	466 食	890 食
合 計	3,809 食	7,453 食
	11,262 食	

- ・30 年度より委託事業が廃止されることになる予定です。

外出支援サービス事業

目 的	在宅での自立生活の継続・健康維持の支援を目的とします。	
事業内容	医療機関への利用者の送迎	
利用対象者	要介護高齢者およびひとり暮らし高齢者等	
利用内容	1 ヶ月の利用回数は、最大 10 回とする。(片道 1 回)	
利用者負担	1 回片道 彦根・愛知・犬上管内 300 円	

	(東近江市の湖東記念病院のみ 500 円)
成果・課題	本年度より料金改定されたこともあり 3 月現在前年度比 364 件の利用数の減少となり減少傾向になっています。

			上半期合計		下半期合計		合 計		年間平均		
登録人数			654		713		1,367		113.9		
利用実人数			334		293		627		52.2		
利用述人数			695		649		1,344		112		
利用延回数		彦愛犬方面		1,323		1,233		2,556		213	
		湖東記念		14		20		34		2.8	
井関眼科		22	重森医院		2	橋添眼科		22	目加田眼科		59
石川医院		2	杉本整形		88	馬場医院		21	安澤医院		20
今村医院		33	高崎医院		4	彦根市立		250	山田ファミリー歯科		10
おした医院		122	たけは医院		74	彦根中央病院		71	友仁山崎病院		58
神野クリニック		10	豊郷病院		906	ひろた皮膚科		8	世一クリニック		15
北村医院		86	中川外科		6	布施医院		2	若松医院		89
北村歯科		10	なかつか医院		30	南彦根クリニック		13	若松歯科		6
湖東記念		38	中橋整形		505	宮尾医院		8	合 計		2590

5. 介護保険事業・障害者総合支援事業

(1) 介護保険事業

せせらぎデイサービス（介護予防を含む）〔通所介護事業〕の経営（甲良町・豊郷町）

管 理 者	1 名（兼務）	機能訓練指導員	1 名（常勤）
看 護 師	2 名（常勤）1 名（パート）	介護職員	2 名（常勤）8 名（パート）
生活相談員	1 名（常勤）		
営 業 日	月曜日～土曜日 9：20～16：30（日曜、12月29日～1月3日を除く）		
定 員	35 名		
事業内容	送迎、健康チェック、レクリエーション、入浴、給食、介助、その他必要な介助、事業に係る事務及び研修		
利用対象者	利用実人数	利用延人数	平均利用者数
要支援 1	1 名	52 名	4.3 名
要支援 2	2 名	203 名	16.9 名
要介護 1	25 名	2,863 名	238.6 名
要介護 2	23 名	2,521 名	210.1 名
要介護 3	27 名	2,161 名	180.1 名
要介護 4	8 名	444 名	37.0 名
要介護 5	1 名	0 名	0 名

合 計	87 名	8,244 名	687.0 名
-----	------	---------	---------

デイサービスえがお〔認知症対応型通所介護事業〕の経営（甲良町・多賀町）

管 理 者	1 名（兼務）	介護職員	8 名（パート）
生活相談員	1 名（常勤）		
営 業 日	月曜日～金曜日 9：30～16：00（土・日曜、12月29日～1月3日を除く）		
定 員	10 名		
事業内容	送迎、健康チェック、レクリエーション、入浴、給食、介助、その他必要な介助、事業に係る事務及び研修		
利用対象者	利用実人数	利用延人数	平均利用者数
要介護 1	4 名	566 名	47.2 名
要介護 2	2 名	294 名	24.5 名
要介護 3	3 名	171 名	14.3 名
要介護 4	1 名	32 名	2.7 名
要介護 5	0 名	0 名	0 名
合 計	10 名	1,063 名	88.6 名

せせらぎ居宅介護支援事業所〔居宅介護支援事業〕の経営（甲良町）

管 理 者	1 名（兼務）	ケアマネジャー	2 名（常勤）
営 業 日	月曜日～金曜日まで、8：30～17：30		
事業内容	ケアプランの作成、事業に係る事務及び研修		
利用対象者	利用実人数	利用延人数	平均利用者数
要介護 1	17 名	221 名	18.4 名
要介護 2	14 名	177 名	14.8 名
要介護 3	18 名	170 名	14.2 名
要介護 4	6 名	51 名	4.3 名
要介護 5	1 名	14 名	1.2 名
合 計	56 名	633 名	52.8 名

(2)障害者総合支援事業

せせらぎ〔就労継続支援 B 型事業〕の経営（彦根市・犬上郡、愛荘町等）

管 理 者	1 名（兼務）	生活支援員	1 名（常勤）
サービス管理責任者	1 名（兼務）	作業指導員	5 名（常勤）

目 的	<p>通常の事業所に年齢や体力の面で雇用される事が困難な者や、就労支援事業や就労継続事業A型の利用が困難と判断された者に対し、就労の機会を提供すると共に生産活動、その他の活動機会の提供を通じ、知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を供与する事を目的とします。</p> <p>(雇用計画に基づかない)</p>		
事業内容	<p>自主製品製造作業。一般就労に必要な知識・能力の向上が見られる方には一般就労への移行に向けて企業実習・求職活動等の支援。社会的自立に向けて生産活動と共に地域生活を営むために必要な訓練活動。</p> <p>パン製造販売事業(パンを製造し役場・学校・保育園・近隣の福祉施設・企業に販売)</p> <p>パン直販所兼喫茶の経営(火～金 AM11:00～PM2:30)</p> <p>施設生産のパンの販売と喫茶の経営</p> <p>ペットボトル回収事業(犬上3町受託)</p> <p>甲良町のペットボトルの回収と豊郷・多賀両町の回収されたペットボトルの圧縮梱包作業</p> <p>内職 ウッディ(愛知川) ボクシー(尼子) 水谷醤油店(彦根)</p>		
定 員	30 名		
利用対象者	近隣市町の身体・精神・知的障害により一般就労が困難な在宅障害者。		
利 用 日	月～金曜日 9時～16時		
実績数	利用実人数	利用延人数	平均利用者数
就労継続支援B型	29 名	5,802 名	483.5 名

せせらぎ〔生活介護事業〕の経営(彦根市・犬上郡、愛荘町等)

管 理 者	1 名(兼務)	生活支援員	2 名(常勤)看護師 1 名(パート)
サービス管理責任者	1 名(兼務)	作業指導員	5 名(常勤)
目 的	<p>利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、排せつ及び食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他の便宜を適切かつ効果的に行う事を目的とします。また、地域との結び付きを重視し、利用者の所在する市町との関係機関との密接な連携に努めることとします。</p>		
事業内容	<p>健康チェック・ウォーキング等の健康維持活動</p> <p>リサイクル活動・企業からの受注作業等の生産活動</p> <p>音楽鑑賞・畑作業等の創作余暇活動</p> <p>個々のニーズに応じて設定する個別課題</p> <p>レクリエーション 音楽鑑賞・ビデオ観賞</p> <p>創作活動 折り紙・塗り絵</p> <p>散歩 図書館・畑・公園・車で近場へ</p>		
定 員	6 名		

利用対象者	近隣市町の身体・精神・知的障害により一般就労が困難な在宅障害者。
利 用 日	月～金曜日 9時～16時

実績数	利用実人数	利用延人数	平均利用者数
生活介護	7 名	1,255 名	104.6 名

年間行事

開 催 日	行事等の名称	場 所	参加人数
4 月 6 日（水）	お花見（桜）	せせらぎ	28 人
6 月 15 日（水）	慰労会	せせらぎ	32 人
8 月 30 日（火）	避難訓練	せせらぎ	31 人
11 月 8 日（火）	日帰り旅行～大津、 京都方面～	琵琶湖博物館/平等院鳳鸞堂 /京都博物館	24 人
12 月 28 日（水）	ご苦労様会	せせらぎ	31 人
1 月 4 日（水）	初詣	多賀大社	27 人
2 月 28 日（火）	避難訓練	せせらぎ	29 人
3 月 17 日（金）	お花見（梅）	呉竹梅林公園	33 人